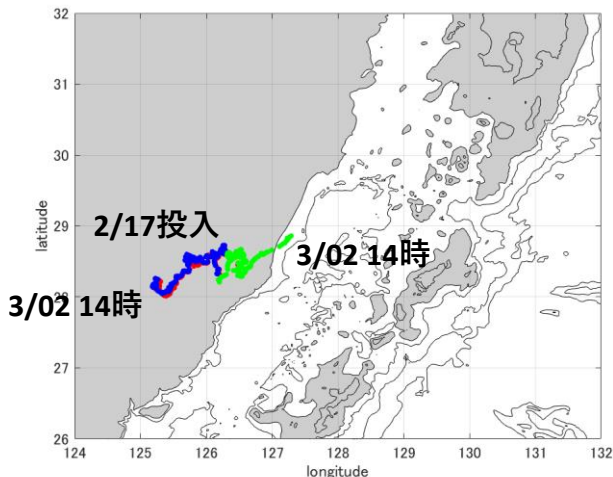


# 漂流ブイ観測速報(7)

鹿児島大学水産学部水圏科学分野

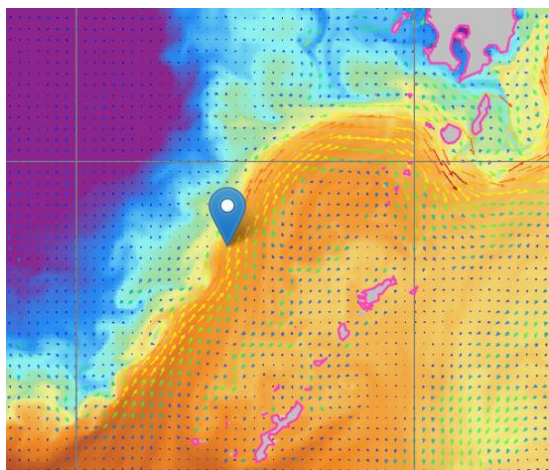
2023年3月2日



## 漂流経路図:

3個のペットボトル型ブイの漂流軌跡(3月2日14時現在)。

注意:漂流ブイが人工衛星を捕捉できない時間帯があるので軌跡は途切れ途切れになる。



## ひまわりモニタ海中天気予報の海面水温画像(3月2日):

図中のマークは2日現在の緑色●の漂流ブイの位置を示す。矢印は海面の流速と流向を示す。

提供:海洋研究開発機構・宇宙航空研究開発機構

## データ表:ブイ投入から3/2 14時までのブイの位置情報.時刻(世界時)、経度、緯度.

ID:227198 (●)		
日本時間3月02日14時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 2:11	126.48	28.46
2023/2/18 1:21	126.15	28.55
2023/2/19 2:52	126.28	28.72
2023/2/20 10:59	126.04	28.57
2023/2/21 4:04	125.90	28.53
2023/2/24 0:02	125.74	28.45
2023/2/26 1:25	125.45	28.09
2023/3/2 2:56	125.23	28.13

鹿大水産学部練習船「かごしま丸」により、2月17日、海上を漂流中の3個の流れ藻にペットボトル型ブイを取り付けて、その漂流経路を人工衛星ARGOSシステムで追跡しています。

この追跡の漂流経路図(左図)とデータ表(下表)は、ブイが薩南海域を通過するまで、1~2日毎に更新・公表されます。

同時に、海況予報モデル(DREAMS\_E)によるブイの3日先の漂流予報も行い、公開します(漂流予測は、漂流ブイが黒潮に取り込まれた時点から開始する予定。現在、ID227202について調整中)。

解説:現在、1個のブイ(緑色)が、北東に移動し始めました。気象衛星ひまわりのデータから再現した海面水温画像から、緑色ブイの位置は黒潮本流にあると考えられます。今後、緑色ブイは黒潮の北縁に沿って下流側へ速やかに移動すると予想されます。今週末は冬型の気圧配置が緩むので、風の影響は弱く、流れに乗って移動すると考えら、3~4日で薩南海域へ来遊する可能性があります。

ID:227201 (●)		
日本時間3月2日14時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 1:31	126.16	28.33
2023/2/18 1:23	126.15	28.56
2023/2/19 2:53	126.28	28.73
2023/2/20 10:51	126.03	28.57
2023/2/21 4:04	125.91	28.56
2023/2/24 0:01	125.72	28.47
2023/2/26 1:25	125.44	28.13
2023/3/2 2:57	125.19	28.13

ID:227202 (●)		
日本時間3月2日14時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 8:07	126.18	28.24
2023/2/18 1:19	126.36	28.50
2023/2/19 2:47	126.53	28.66
2023/2/20 11:09	126.49	28.62
2023/2/21 4:07	126.36	28.61
2023/2/24 0:01	126.53	28.56
2023/2/26 1:28	126.46	28.37
2023/3/2 2:56	127.29	28.86